


ポーランド共和国			首都	ワルシャワ
 <p>夕焼けの空に飛ぶ白鷺を見て旗にしたという建国の歴史の伝説からできている。赤はこの国の建設に流した血で、白は喜びを表している。</p> <p>独立：1918/11/11 ロシア・プロイセン・オーストリアより 国連加盟：1945/10/24 政体：共和制</p>	国 の 概 要	国土	面積 32万3,000 km ² (日本の0.8倍) 南部のカルパチア山脈を除くと、国土の大半を平坦なポーランド平原が占めている。北部でバルト海に面している。国土の平均高度は170mで、平原地帯は100m、中央部はビスワ川の流域地帯である。南部国境にズデーテン、カルパチアなどの山脈が走り、最高点は標高2,500mである。	
		人口	3,850万人	
		言語	ポーランド語(公用語)	
		通貨	ズウォティ	
		気候	北西部のバルト海沿岸は温帯気候、東部と南部は冷帯湿潤気候である。海洋性から大陸性への移行帯にあるため不安定で、冬季は長く寒冷となるが降雪は少ない。降水量は平均しており、季節による変動は少ない。	
		民族	ポーランド人99%	
		宗教	カトリック95%、東方正教会、プロテスタント	
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	・小学校は6年(7歳~12歳)、中学校は3年(13歳~15歳)、高等学校は3年(16歳~18歳)、高等専門学校は2年(16歳~17歳)、職業学校は2(3)年(16歳~17(18)歳)である。大学は5年間である。		
	義務教育	・7歳~18歳までは義務教育であり、退学することができない。 ・その年の12月31日までに満7歳になる者は、その年の9月1日に義務教育の第1学年に入学する。		
	日本と比較した教育課程上の特徴	・学校年度は9月1日~6月の第3金曜日までである。 ・授業はポーランド語で行われ、選択授業(有料)で週に3回、英語・ドイツ語・スペイン語がある。 ・ワルシャワにある高校では、日本語のクラスが設けられ、日本文化クラブもある。		
	義務教育後の教育	・高校または高等専門学校を修了した者が大学へ進学することができる。または最近では大学進学者が増加しており、大学に通いながら働ける職場に人気がある。また、夜間大学の人気も高まっている。		

		<ul style="list-style-type: none"> ・大学では5年間のうちにいつでも試験に不合格となる可能性があるため学生は大いに勉学に励んでいる。 ・また、社会人講座も週末に開かれている。ポーランドの大学では特に医大と音大のレベルが高い。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の1年間「ゼロ学年」と呼ばれる教育が行われる。 ・「ゼロ学年」は幼稚園や小学校に付設され、入学を迎える子どもたちを対象に読む・数える・絵を描くことなどを教育する。設備も比較的整っており、朝昼の食事とおやつもでる。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から高校まで、児童生徒は成績が記載された手帳を持っている。手帳には両親がサインする欄があり、子どもの成績、学習態度、また、親へのメッセージを教師から知らされた際にサインする。 ・教師の地位が高いため、授業中の子どもたちはとても静かで決して教師を怒らせたりはしない。 ・学校は知識やマナーを教えるところとされ、家庭でマナーや倫理観、精神的によい人間になるための教育をする。 ・18歳になったら、兵役義務があるが、大学生は免除されている。
学 校 生 活	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では遠足や遊びが多く取り入れられ、各教科で勉強する内容も豊富である。 ・小学校1年生から暗記に重きを置く教育が行われ、口頭質問とそれに対する即答の訓練が頻繁になされる。 ・ポーランド語には同音で異なった文字（例：UとO）を持つ場合がいくつかあり、それを聞き取り、書くという訓練も行われる。そのため授業では書き間違いをなくすため、鉛筆ではなくペンなどを使わせる。 ・2年生のはじめには、食事に関して各自で最低限のことができるよう、ナイフの使い方などの訓練がある。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食は有料で月ごとに支払うが、希望者のみである。 ・食事中は教師が立ってテーブルマナーや好き嫌いなどに気を配り、問題があれば親に忠告する。 ・弁当を持参する場合は、サンドイッチ・果物・飲み物が多い。菓子も自由である。

	教室における行動様式等の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで何かをすることはまれで、生活態度や授業中の態度が評価の対象になることはない。 ・自分で考えることを重視し、個性が一番大切と考えられている。
生活習慣等	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・7:00 に朝食（シニャダニエ）としてパン、ジャム、ミルク、白チーズ、半熟卵を食べ、11:00 に第2朝食（第2シニャダニエ）としてサンドイッチ、紅茶、15:00 にディナーとして肉、サラダ、スープ、じゃがいも、パン、ジュース、ケーキ、そして、20:00 に夜食（コラツィア）としてパン、サラダ、チーズ、ソーセージ、紅茶の食事をする。 ・代表的なポーランド料理はピゴス、フラチキ、バルシチ、コトレット、ポンチキとヘルバータがある。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・教育事情あの国この国・・・・・・・・・・・・・・・・全教研
- ・社会科副読本・・・・・・・・・・・・・・・・ワルシャワ日本人学校